

2014年  
夏 どうそ 満  
議員活動報告

つくります!  
newしいづがライフ



発行責任者 道祖 満  
飯塚市 鯉田2525-44  
TEL 25-3280・22-9323

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

e-mail:m.douso@fmwu.or.jp

## 夏の夜はまだ宵ながら明けぬるを 雲のいづこに月やどるらむ

(深養父)

皆様お元気ですか。

今年は、5月の連休が過ぎても急激に気温が上がらず、冷夏になるのではないかと思っていました。夏らしくなってきました。

7月に入り3日、7日には大雨が降り冠水する場所もありましたが、心配していました。台風8号の影響がなく取りあえず安心してるところです。

飯塚市では、平成23年1月に「飯塚市防災（浸水）対策基本計画」を策定し合併特例債を活用して平成27年までを目標に浸水対策に取り組んでいますが、進捗状況が遅れていますので雨が降るたびに冠水等の被害が心配です。

飯塚市議会では、市長選挙に伴い5月8日～12日まで臨時市議会が開催されました。

また、6月11日より7月8日まで、6月定例市議会が開催されました。（今年は、4月13日に飯塚市長選挙が実施され、3月定例議会では平成26年度の各会計において骨格的予算が計上されていましたが、6月定例市議会では、平成26年度の市長の政策的な予算が計上されました。）

（5月8日から12日まで、臨時市議会が開催され、穂波東中学校区の中小一貫校用地の取得議案等3件の議案審議と、副市長・教育委員・監査委員の選任がありました。）

また、5月8日の議長辞職により、新たな議長に選任されました。）



## 平成 26 年 6 月 定例市議会報告

平成 26 年 6 月 定例市議会が、6 月 11 日から 7 月 8 日まで開催されました。

今回の定例市議会では、平成 26 年度飯塚市一般会計補正予算（第 1 号）、飯塚市学校給食事業特別会計補正予算（第 1 号）の補正予算案件 2 件と、飯塚市特別職の職員等の給料の支給の特例に関する条例、飯塚市債権管理条例、飯塚市文化振興基本条例の一部を改正する条例、飯塚市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例、飯塚市税条例の一部を改正する条例等の条例案件 7 件、契約の締結 2 件、財産の取得（教育情報機器等）1 件、訴えの提起 2 件、市道路線の廃止 1 件、その他 3 件、報告案件 18 件について審議をしました。

飯塚市一般会計補正予算（第 1 号）の主なものは、次の通りです。

- ◎ホームページ更新事業費(市のホームページを全面的に新しくする)1833 万 9 千円、
  - ◎住宅団地分譲跡地管理費(青葉台団地調整池改良・団地道路法面改良)1700 万円、
  - ◎潁田地区自治公民館移譲経費(潁田地区の 24 の自治公民館を各自治体に移譲する)5829 万円 7 千円、
  - ◎まちづくり協議会補助金(12 地区のまちづくり協議会に各 100 万円の補助金を交付)1200 万円、
  - ◎住民等基幹業務システム改造委託料(社会保障・税番号制度に対応するための改造)9419 万 7 千円、
  - ◎私立保育園整備事業補助金(枝国・愛の光保育園対象)1 億 4620 万 2 千円、
  - ◎保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金(対象 22 円)5227 万 8 千円、
  - ◎省エネルギー推進事業費(バイオコークス実証実験費用)987 万 2 千円、
  - ◎道路補修事業費(市内 3 か所の道路補修工事費)4100 万円、
  - ◎勢田土手外急傾斜地崩壊対策事業費(工事調査測量設計委託料)2270 万円、
  - ◎公営住宅改善事業費(吉北・南尾公営住宅外壁等補修工事)1 億 2450 万円、
  - ◎目尾・幸袋小中学校統合事業費(児童館と併設 24 年度より 28 年度完成予定、今回の補正予算を含めて事業費総額 61 億 7318 万 1 千円)7 億 3014 万 8 千円、
  - ◎楽市・平恒・穂波東小中学校統合事業費(児童館と併設 24 年度より 28 年度完成予定、今回の補正予算を含めて事業費総額 56 億 6087 万 5 千円)4 億 645 万 5 千円、
  - ◎飯塚公民館改修事業費(空調・受変電設備改修・屋根防水)6180 万円、
  - ◎穂波 B&G 海洋センターウォーキングコース改修工事 2400 万円、
- 等で、補正予算総額は 67 億 9981 万 2 千円、補正後の飯塚市一般会計総額は 693 億 7581 万 2 千円となりました。

条例議案の主なものは、次の通りです。

- ◎飯塚市特別職の職員等の給料の支給の特例に関する条例(8月1日から市長10%、副市長・上下水道事業管理者・教育長5%の給料を減額するもの。)
- ◎飯塚市税条例の一部を改正する条例(軽自動車の税を平成27年度新車登録するものから引き上げる・13年経過したものについては重課税するもの。)
- ◎飯塚市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例(平成27年1月1日より、子ども医療費の入院に係る医療費を12歳から15歳まで引き上げるもの。)
- ◎飯塚市債権管理条例(市の債権の適正管理のため、債権所管課間における滞納者の個人情報相互利用と、私債権等の債権放棄について定めるもの。)  
契約の締結は、
- ◎文化会館大ホール・中ホールの調光設備等改修工事 3億4549万5240円
- ◎文化会館大ホール・中ホールの音響設備改修工事 1億9529万4240円

享月 日 年 月 日 2014年(平成26年)6月6日 金曜日

飯塚市は5日、約22億5千万円の一般会計補正予算案を発表した。市長選前の3月に可決された骨格予算の新年度当初予算に、補正額を加えた一般会計の総額は約69.3億8千万円。前年度当初より約68億円(10・9%)増え、合併後で最大となる。建設資材費や人件費の高騰を受け、小中一貫校の建設費を約10億円上乗せした。

東日本大震災の復興事業の影響で、資材価格や労務単価が全国的に高騰。補正に計上した小中一貫校と児童館の建設事業費、計11億7千万円のうち約10億円

飯塚市は5日、約22億5千万円の一般会計補正予算案を発表した。市長選前の3月に可決された骨格予算の新年度当初予算に、補正額を加えた一般会計の総額は約69.3億8千万円。前年度当初より約68億円(10・9%)増え、合併後で最大となる。建設資材費や人件費の高騰を受け、小中一貫校の建設費を約10億円上乗せした。

中心商店街の火災跡地に子育てプラザ(2016年11月開業予定)を整備する事業に1689万円、瀬田支所付近を流れる庄内川の河川監視カメラの設置に436万円、連続ドラマ「花子とアン」を活用した観光事業に409万円、穂波B&G海洋センターウオーキングコースの改修工事に2400万円を盛り込んだ。

飯塚市議会は5日の議会運営委員会で、定例会の日程を11日と7月8日と申し合わせた。市は一般会計補

## 一般会計693億円に 飯塚市が補正予算案 資材高騰で建設費増

正予算案のほか、小学6年までの入院費の助成対象を来年1月から中学3年まで広げる条例改正案、市長給料を10%減額する条例案などを提案する。

(垣花昌弘)

財産の取得は、

- ◎庄内小学校外2校のコンピューター教室の機器等を整備するため、プリンター3台、コンピューター123台、教育用ソフトウェア一式を、2138万4千円で取得。
- また、平成26年8月1日から、災害に即応できる組織体制の強化と、防災、危機管理に関する需要施策の実効推進のため、専門知識を持った人材を、防災危機管理監として設置することになりました。

## 滋賀県草津市「草津未来研究所」行政視察

4月24日滋賀県草津市の「草津未来研究所」の運営・活動状況を視察してきました。

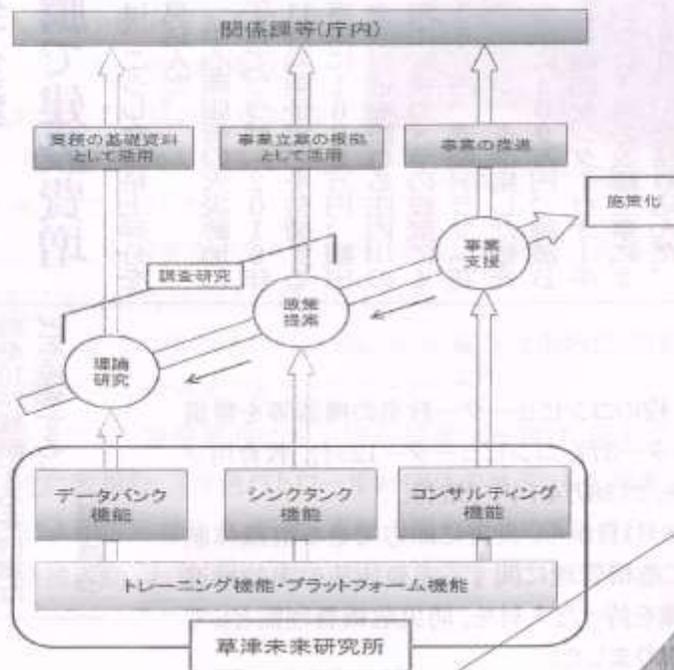
草津市には、学生数約18000人、先生数約1000人の立命館大学があり、大学と連携して地域の未来を見据えた創造力のある政策を提案し、市の政策審議機能の充実に寄与することを目的に「草津未来研究所」が、2010年に設置されています。

この研究所では、調査研究活動として、市の政策課題を分析して課題解決を目指す政策を生み出すため、データバンク機能、シンクタンク機能、コンサルティング機能を持ち、人材育成活動として、市の未来を担う人材育成を大学の人材育成プログラムや調査研修活動を通じて行っています。

平成25年度の活動内容としては、流通・消費の視点から6次産業化に関する調査研究、市の医療福祉の在り方に関する調査研究(質の高い生活を支える医療と介護との連携の在り方を探る)、広域行政に関する調査研究(草津市の今後の方向性について)等を行ったとの説明がありました。

飯塚市では、現在あります飯塚市総合計画は、平成28年度までが機関とされていますので、今後新たなものを作成しなければなりません。草津市のような行政課題を調査する部門があれば市民生活に密接した計画を作成することができるのではないかと感じました。

### 草津未来研究所の活動イメージ



## 滋賀県湖南市「地域エネルギー課」行政視察

4月25日、滋賀県湖南市「地域エネルギー課」の取り組みについて行政視察してきました。

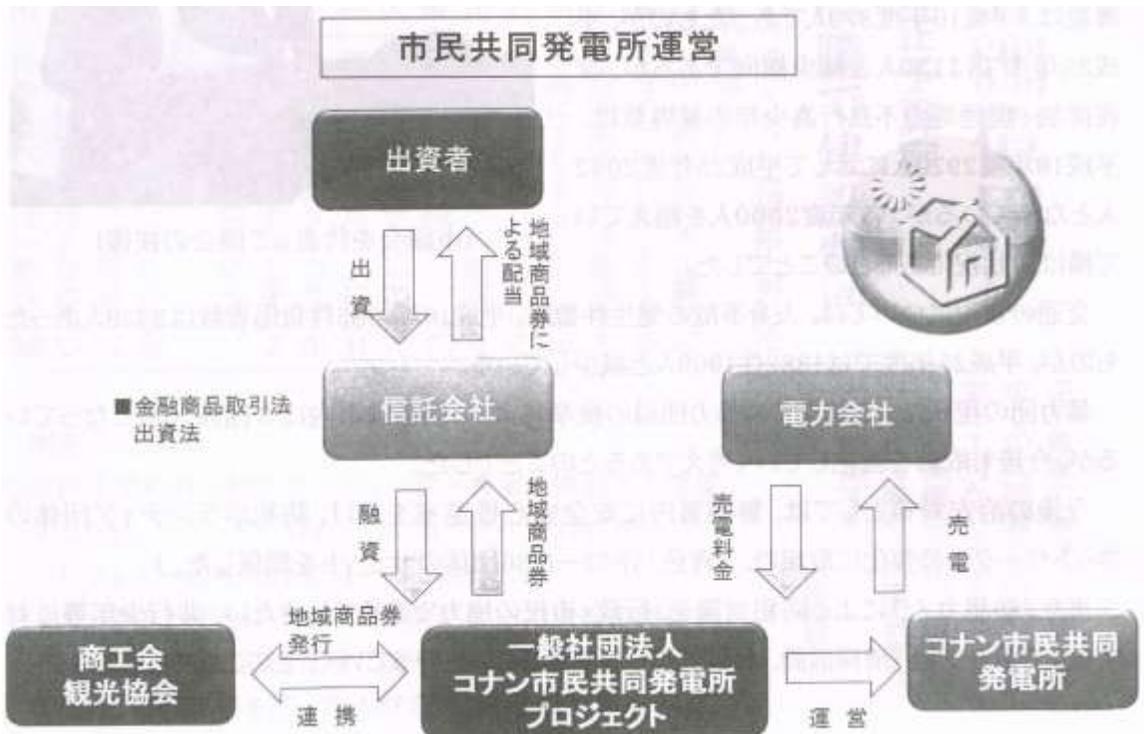
湖南市では、平成24年9月に「湖南市地域自然エネルギー基本条例」が制定されています。

この条例の目的は、地域における自然エネルギーの活用について、市、事業者、市民の役割を明らかにして、地域固有の資源と認識して、地域経済の活性化につながる取り組みを推進して、地域が主体となった地域社会の発展に寄与することとしています。(この条例は、全国では5自治体で制定されています。)

湖南市では、市民、事業者が出資して太陽光による市民共同発電所を運営しています。この発電所で発電した電力は関西電力に売電し、利益については出資者に、地域振興券で還元する仕組みとなっています。

この方式で2か所の市民共同発電所を稼働しており、今後も事業展開を進めていく考えであるとのこと(太陽光発電に限らず、地元企業の技術を活用して小水路で発電できる装置の開発にも取り組んでいるとの事でした。)

今回は湖南市の自然エネルギーの活用状況の視察でしたが、今後残る4自治体の取り組みについても調査研究をして、飯塚市でも活用できるか検討したいと思っています。



## 「地域の治安情勢について」 市議会議員研修会を開催

7月8日の本会議終了後、市役所研修室で、「飯塚地区の治安情勢と今後の対策について」をテーマに、山口飯塚警察署長の講演をして頂きました。

この研修会は、5月に飯塚警察署に議長就任のご挨拶に伺った際、市内において研修会を行っているとのことでしたので、市議会でも市民の安全で安心して暮らせる生活環境の構築に向けて取り組んでいるので、地域の治安情勢がどうなっているのか講演をお願いし開催することとなりました。

講演での治安状況の説明では、飯塚警察署が管轄する飯塚市・桂川町における刑法犯認知状況は、平成14年度6532件であったものが、平成25年度では2273件と減少している、26年度においても減少傾向にあるとのことでした。その中で、乗り物盗（オートバイ・自転車）と、ニセ電話詐欺については増加傾向にある、とのことでした。

少年非行の現状は、刑法犯少年の検挙補導数は、平成16年379人であったものが、平成25年度では130人と減少傾向であるが、深夜徘徊・喫煙等の不良行為少年の補導数は、平成16年度2970人に対して平成25年度2042人となっているが、各年度2000人を超えていて横ばい状況であるとのことでした。

交通の状況については、人身事故の発生件は、平成16年1886件負傷者数2429人であったものが、平成25年度では1382件1909人と減少している。

暴力団の現状は、これまでの暴力団員の検挙により、現在は市内に3団体10名となっているが、今後も取締りを強化していく考えであるとのことでした。

今後の治安対策としては、警察署内に安全安心推進室を設け、防犯ボランティア団体のネットワーク化の強化に取り組む。（青色パトロール36団体のサミットを開催した。）

また、防犯カメラによる防犯対策を、行政・市民の協力で進めていきたい。非行少年等に対する立ち直り支援（清掃活動、お菓子作り等を通じて）を行っていく、とのことでした。



（市議会を代表して開会の挨拶）

講演会后、意見交換を行いました。その中で、わたしは、県内でも治安状況は改善されてきているが、定住政策を進める中で市外の方々から、飯塚市は恐ろしい・怖いとのイメージがあると聞かすが、その改善方法についての考えをお尋ねしました。

これに対して、「北九州市では事件等が生じた時、市長が対策について会見を行っている、これは市の姿勢を示すイメージアップに繋がっていると考える。」

「飯塚市は、治安は良くなっている、昔と違って治安が良くなっているとのイメージアップ対策が不足していると思うので、飯塚市のイメージについて、アンケート調査をアンケート会社等に依頼して、傾向を把握して対策を立てて取組むことも必要ではないか。」と、提言を頂きました。

## 東京福岡県人会に出席しました。

5月22日に東京で開催された福岡県人会に出席しました。(筑豊地区が開催担当)

翌日の23日は、衆議院議員会館の麻生太郎衆議院議員事務所に議長就任のご挨拶に伺いました。

## 全国市議会議長会に参加致しました。

5月28日、第90回全国市議会議長会総会が、東京・日比谷公会堂で開催されました。

この総会に飯塚市議会の議長として出席いたしました。

総会では、25件の議案が審議され、地方税財源の充実確保に関する決議、東日本大震災からの復旧・復興に関する決議が可決されました。

また、市議会議員の勤続表彰が行われ、わたしは25年勤続表彰をいただきました。

今回の総会で飯塚市は、平成26年度は地方財源委員会に所属することとなりました。

翌日の29日は、参議院会館の大島九州男参議院議員・大久保勉参議院議員・野田国義参議院議員・津田弥太郎参議院議員・西村まさみ参議院議員の各事務所に議長就任のご挨拶に伺いました。

## 天皇陛下に排謁しました。

総会後の5月30日、総会参加の578市の議長は、東京プリンスホテルに集合後、皇居に向かい、皇居・豊明殿へ参拝し天皇陛下に拝謁する栄誉と、「皆さんが地方自治のために日々尽力していることを誠にご苦労に思います。様々な問題があることと察していますが、皆さんの努力により、良い方向に進んでいくことを期待しています。どうかくれぐれも体を大切にされ、今後とも市民・区民の幸せと地域の発展のために、力を尽くされるよう願っています。」と、お言葉を賜りました。

## バイオコークス実証実験へ

平成 24 年 12 月定例市議会で、低炭素社会の構築の実現に向けて近畿大学が取り組んでいる「草・木」等の原材料に加熱・圧縮して生産する「バイオコークス」を石炭コークスの代替えとして飯塚市のガス化高温溶融炉方式の清掃工場で使用できないか実証実験を行い可能であれば、代替えエネルギーとして活用していくことを提案していましたが、今回の 6 月定例市議会の一般会計補正予算に実証実験関係費が計上されました。

実証実験は、石炭コークスの代替率を、10%、20%、30%でバイオコークスをごみピットに投入してごみと一緒に、炉に投入する方法で、8 月には実施する考えであると報告がありました。(一般会計補正予算特別委員会の質疑の中では、「実証実験の結果、代替エネルギーとして使用が可能であると実証された場合、間伐材等を再利用してバイオコークスを製造するなど、今後の計画を見据えたうえで実施すべきである。」という意見も出されていました。)

## 鯉田工業団地入口信号機右折表示要望

鯉田工業団地が完成し、新しく国道 200 号バイパス道路にアクセスする道路が今年の 4 月から使用開始されました。

これに伴い鯉田工業団地入口に通常の信号機が設置されましたが、飯塚方面から鯉田工業団地に右折する際、対向車線の車両が通過後の右折になるため信号が変わる時間の関係で右折できない場合があります。今後工業団地に企業の社屋が完成すると今以上に右折車両が増加することが考えられるので、右折専用の表示のある信号機の設置をしてほしいと地元の方々から要望がありましたので、市を通じて警察署等関係機関にこの要望をおこないました。

## 「つどいの広場」の祭りに参加しました。

7 月 5 日に「つどいの広場」の祭りが開催されました。

当日は雨も降らず、過ごしやすい天気です。多くの子どもたちが参加していました。

つどいの広場が設置されて今年で 10 年となりますが、鯉田地区子供会指導者連絡協議会の関係で、この祭りには毎年参加していますが、今年も、バザー販売で「大きな風船」の係で参加しました。

